

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

国内子ども支援の現場から

みんなのへやの クリスマス

ワールド・ビジョン・ジャパンが2023年の夏から運営している子どもの居場所「みんなのへや」。2025年は計51回開催し、のべ698名の子どもと保護者が参加しました。1年の締めくくりとして、12月19日にクリスマス会を開催。地域の町会会館をお借りして、子ども37名、保護者4名、合計41名が参加しました。地域・学年を越えた交流のあるにぎやかな1日となりました。



©World Vision



©World Vision



©World Vision



©World Vision

子どもたちが作ったオーナメントや
クリスマスカードの一部

プラバン作りにも夢中に
取り組んでいました

参加した子どもや保護者の声 (クリスマス会のアンケートより)

- ごはんがおいしかったし、何よりビンゴ大会やじゃんけん大会が楽しかった
- いつも通り自由に過ごせてよかった
- 全部楽しかった！
- 家以外で子どもとお友達が遊ぶ様子が見られてよかったです
- スタッフの方とゆっくりお話しができ、母の励みにもなりました
- 子どもががとても楽しそうに帰ってきました。そして素敵なおちそうを持って帰って来てくれました。ごちそうさまでした！

思い思いに楽しみ、新たな交流も

毎年恒例となっているクリスマス会は、みんなのへやに来ている子どもたちとその友達や家族と一緒に楽しめるイベントです。2025年は普段の参加者が倍近くに増えたこともあり、クリスマス会も例年以上ににぎやかな会となりました。普段一緒に遊ぶことの少ない子同士が、工作やゲームを通して自然と交流する様子も見られました。年上の子が年下の子の提案した遊びに参加するなど、心温まる場面が数多くありました。

こちら恒例の工作コーナー(クリスマスオーナメント、プラバン、カードづくり)は今年も大人気で、子どもたちは工夫を凝らしながら、思い思いの作品づくりを楽しんでいました。夕食では、アイスクーキが特に好評で、サンドイッチやチキンも多くの子どもたちがおかわりをし、あっという間に完食となりました。最後に行ったビンゴ大会也大いに盛り上がり、1年の締めくくりにもふさわしい笑顔あふれる一日となりました。

～スタッフからひとこと～

3回目となる今回のクリスマス会は、たくさんの方にご参加いただき、夕食は持ち帰り分も含めて合計80食以上を準備をしました。普段の活動を通して、多くの方がこのクリスマス会を楽しみにくださっていることを感じ、大変うれしく思いました。アンケートでは保護者から「毎回同じ方々が相手をしてくださり、ひろびろとした空間で遊ばせてもらえるのはとてもありがたいです」という声や、子どもからも「安心して過ごせる」といった声が寄せられました。これからも「みんなのへや」がすべての子どもたちにとって居心地がよく、「みんなで作る」居場所であり続けられるよう取り組んでいきます。(高橋・高山・山下)

